

2018-19年度2019年新年号 IV



第2156回例会 2019/1/18 12:30開会点鐘

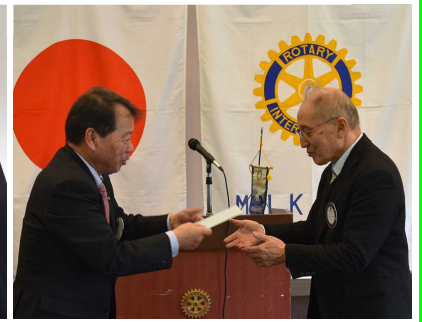
第2157号 (幹事報告)



「1月誕生記念おめでとうにこにこ」



第1回米山功労者



第2回米山功労者



第2回米山功労者



第4回米山功労者



第5回米山功労者



人手不足対策と雇用管理改善について

三国公共職業安定所 所長 河村直子氏

1.雇用失業情勢（平成30年11月）有効求人倍率とはハローワークで受付した有効求人数（3ヶ月間）をハローワークで仕事を探している人の数を割り算した数値です。福井県は2.08倍で一人のに一つは職種を選ばなければ求人が確実にあるということになります。全国では、1.63倍で福井県は3番目です。福井県の中では三国所が一番高く11月は3.39倍ですが、卸小売業が499件の求人がありました。実は三国所管内に大手ドラッグストアさんとかホームセンターさんの本社を抱えておりますので、県外求人あるいは三国所の管外求人を含んでおり、県外求人が499件のうち409件あるんです。それを外しても2.71倍になります。春江町だけ坂井市の中でも福井の安定所の管轄になっています。三国の安定所の管内だけというのは語弊が出てくるのですが、分けられないので、求人の中はあわら市か坂井市かという分け方しかしませんので、春江町を入れた形で坂井市あわら市の求人そこを就業地とした求人数だけで求人倍率を割返しますと1.93まで減ります。あわら市で2.39倍、坂井市で1.78倍という形で減りますので、地元の方に就職という事については3.3倍あって大変と言うところまではご心配頂かなくててもいいのかなと思います。それでも全国ベースからしますと高いです。求人が沢山ある中求職者が段々減ってきているのが現状です。